

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 1 部門第 2 区分
 【発行日】 平成 19 年 12 月 27 日 (2007.12.27)

【公表番号】 特表 2003-515365 (P2003-515365A)
 【公表日】 平成 15 年 5 月 7 日 (2003.5.7)
 【出願番号】 特願 2001-538040 (P2001-538040)
 【国際特許分類】

A 6 3 B 37/12 (2006.01)

A 6 3 B 37/00 (2006.01)

【F I】

A 6 3 B 37/12

A 6 3 B 37/00 F

【手続補正書】

【提出日】 平成 19 年 11 月 5 日 (2007.11.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 特許請求の範囲

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 0.825 インチ～0.840 インチの範囲の半径を有する表面を持つ内側球体と、

前記内側球体表面に設けられた複数のピラミッド状突起であって、各ピラミッド状突起は内側球体表面から 0.005 インチ～0.015 インチの範囲だけ延びており、各ピラミッド状突起は 3 つの凹状の側面を有し、各凹状の側面の曲率半径が 0.225 インチ～0.300 インチの範囲である複数のピラミッド状突起を有するゴルフボール。

【請求項 2】 1.60 インチ～1.76 インチの範囲の直径を持つ球体と、

前記球体から外側に延びる複数のピラミッド状突起であって、各ピラミッド状突起は前記球体の表面から 0.005 インチから 0.015 インチの範囲だけ延びる頂部を有し、各ピラミッド状突起は 3 又は 6 の凹状側面を有し、各凹状側面は曲率半径が 0.225 インチ～0.300 インチである複数のピラミッド状突起と、

前記表面上の複数の円滑な部分とを有し、

ゴルフボールの表面全体は前記複数のピラミッド状突起と前記複数の円滑な部分により形成されているディンプルのないゴルフボール。

【請求項 3】 複数のピラミッド状突起を持つ表面を有し、

各ピラミッド状突起は 3 又は 6 の凹状側面を有し、各凹状側面は曲率半径が 0.225 インチ～0.300 インチであり、

前記複数の突起の少なくとも一つの頂部がゴルフボールの最大の範囲を画定し、ゴルフボールの最外部の 0.002 インチの体積が 0.00213 立方インチより小さいゴルフボール。